はばたけ

名護幼稚園
名護小学校　便り20号
令和4年　10月17日
発行者　仲宗根 勝也

名護小学校ホームページにカラー版を掲載しています。

チャレンジいっぱいの授業研究会

10月13日に、本校で国頭地区国語科担当研修会＆校内研究会を行いました。元文科省調査官で京都女子大学教授の水戸部修治先生を招聘し、国頭地区の先生方と共に、「主体的で対話的な深い学び」に向けた、チャレンジいっぱいの研修会となりました。当日は、1年3組、5年4組、6年3組が公開授業を行いましたが、これまで学年でも一緒に研究を深め合ってきました。水戸部先生からも子どもたちを中心にたくさんの挑戦がある素晴らしい授業でレベルが高い授業と好評いただきました。授業研修会のため早下校となりましたが、教師の授業力向上に授業研修会はとても重要です。保護者の皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。

【1年生の挑戦】

苦手な分野である「書くこと」に挑戦した授業。実体験したことを作文にすることは、1年生にとってはハードルが高いもの。そこで、体験直後の気持ちが熱いうちに、短い言葉で五感をもとにした視点ごとに付箋に書いていく。次に、付箋を並べ、それをもとにお友達に話してアドバイスをもらう。そのアドバイスをもとに付箋を並び替えたり、付け加えたりして、何人かと話していくうちに、伝えたい話がだんだんと形になる。「作文、書けそうだな」と思ったら、自分のタイミングで作文を書くという授業の流れです。子どもたちの伝えたい、書きたいがいっぱいあふれる楽しい授業となりました。

【5年生の挑戦】

ICTを活用し、根拠をもとに「話す・きく」授業で、自分の話したい話題にどれだけ思いを込められるか、相手の話をどれだけ聴き取れるかに挑戦した授業。子どもたちが決めたテーマでディベートを行うため、子どもたちの主張したい、説得したいという思いが根拠集めの原動力となり、タブレットを使って主張の根拠を視覚的に訴える。その主張に対して、反論側も同様の準備をし、反対の主張を行うという授業の流れでした。白熱した討論となるグループもありましたが、論破だけを目的にせず相手の話をじっくり聴き、次の学習へとつなげようとする子どもたちが頼もしい授業でした。

【6年生の挑戦】

教科書に掲載されている作者の他の作品も授業と並行して読み進め、たくさん読んだ本の中から、その魅力や謎について座談会形式で学ぶ授業。教師の発問で授業を進める従来のスタイルとは違い、子どもと共に学習計画を立て、子どもが判断して学び進めることに挑戦した授業です。

たくさんの本を読んでいるため、他の作品と見比べながら、作者の叙述の特徴に着目し作品の魅力を話す子、読み手次第で受け取り方がこんなにも違うんだと感じ取る子など、座談会を通して様々ことを学んだようでした。ハイレベルな内容でしたが、どの子も活躍している凄い授業でした。

捨てる人あれば拾う子あり　クリーン活動

10月12日に、全校児童でクリーン活動を行いました。1年生から4年生までは、校内の清掃を行い、5年生は大西・大南公民館とサンライト公園の清掃、6年生は、大中公民館と漁港のゴミ拾いを行いました。先生たちのお話を聴くと、とても楽しそうに取り組んでいる子もいましたが、いやそうにしながら掃除をしている子もいたようです。しかし、終わる頃には「もっとやりた～い」の声や「きれいになると気持ちいい」「使う人たちが喜んでくれるかも」の声が子どもたちから発せられたようで、クリーン活動をやって良かったとの振り返りが多くありました。この活動を通して、子どもたちが、きれいにすることや後片付けの大切さ、気持ちよさに気づき行動する人になればいいなと感じました。

育てたい「10の姿」を伝える

幼稚園では、幼児期の終わりまでに育って欲しい「10の姿」を視点に保育を行っています。その姿は、達成すべきものではなく、一人一人のよさに気づいて、今後の育ちにつなげるための視点です。名護幼稚園では、10の姿の視点との関連づけた取組を、幼稚園掲示板に掲載しています。幼稚園にご用の際には、ご覧ください。

ハンドボール　優勝!

7月30日に行われた、第12回、新報児童オリンピック大会ハンドボールCパートで名護ユナイテッドクラブが優勝したことを報告に来てくれました。左から2年宮里快晴さん、3年松田耕太朗さん、知念慶晃さんの元気いっぱい3人組です。屋部小学校との合同チームで頑張っているそうです。

女バスも　快進撃!

9月19日、第21回国頭地区ミニバスケット交歓会Cチーム大会において名護1と名護2チームが2つのブロックでW優勝したことを報告に来ました。元気いっぱい、爽やかいっぱいの皆さん。これからの活躍が楽しみです!